



# 運営協議会だより

第 4 号

代表 近藤 弘文 校長 竹村 郷

第 4 回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 平成 29 年 9 月 12 日 17:00~18:30

■場 所 落合第六小学校 視聴覚室

■司 会 副校長 庖刀 由利子

## 1. 校長挨拶

二学期も始まり 3 週目も過ぎますので平常の学校生活を過ごしております。今週末に学校公開がありますのでよろしくお願い致します。

## 2. 内容 校長先生より

### 《学校関係者評価について》

学校経営方針などおおむね好評化を頂きました。

- ・学校のきまり、あいさつのポイントが低い—挨拶週間など引き続き指導を徹底していく。
- ・組体操をやめないで欲しいと多くの意見も頂いている。

☞生活様式の変化、我慢することが困難になっている→組体操を出来る筋力が備わっていない。

他校であるが壁倒立で自分を支えられなく腕を骨折することも起きている。

次年度は組体操を離れ動きのある体操に置き換えていきます。

### 《研究発表会（2月8日）に向けて》

共に未来を創造する子どもの育成—社会で使える学力→**生きる力**

タブレットを使った授業で考えをまとめる学習を高学年から行っている。

分かったことをまとめる→分かったことを表現する。

### 《教員の業務の仕分け方》

教員の異常な勤務実態 週間東洋経済 2017.9.16 より

- ・昔—小中学校は読み・書き・そろばんを習うところ 家庭・学校・地域の三位一体で子育て
- 現在—社会構図の変化、共働き・ひとり親の家庭も増え子どもに割ける時間が少なくなった。

☞**弱まる家庭と地域の力→高まる学校への依存度…本来の教育以外の子育ても要求される**

**本校研究テーマ…落六 DASH—地域の活性化、町育**

- ・全国的に中堅教員が少ない→若手育成に時間をかける余裕が無い。

(本校は現在中堅が多い)

仕事の出来る教員…多忙になる。

仕事の出来ない教員…トラブル対応でさらに多忙化

辞めていく人が増加

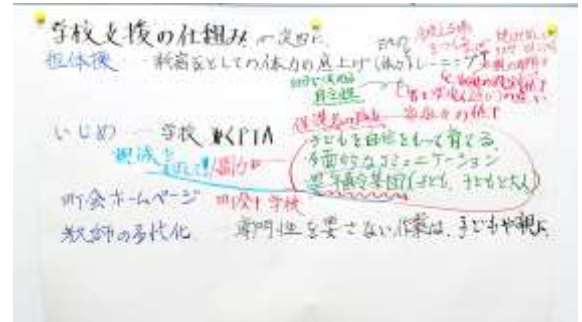
- ・本来教員が注ぐ教育の時間が削がれる→**教員の業務の仕分け**

宿題の丸付けは教員が行う仕事として重要なことなのか?・・・他のひとでも出来る?

安全管理・専門性を要するもの以外は家庭・地域の方々にお問い合わせ出来ないか?

☞学校関係者評価の高い本校です。あえて提案させていただきます。

【意見交換】 近藤会長進行



近藤代表より…淀四小の協働学校代表とお話しをする機会があり、学校支援の人材集め・登録の仕組みがあるとお聞きしました。また詳しいことが分かりましたらご報告します。

- ・組体操出来ないから辞めるだけでいいか？区としての体力の底上げはどうか？
- ・組体操…怪我をする→誰かのせいにする その流れなのではないか。
- ・リスクを恐れては何もできない。死んでしまっただけではいけないが怪我は仕方ない。
- ・遊びで体力を付ける、危ないことを学ぶ、大切なこと。
- ・学校では教える限界がある…本来は家庭で教わること 外遊びもなかなか満足に出来ない現状 地域で安心して遊べるための見守りが出来ればいいのでは
- ・健全な子どもの育成には家庭教育が不可欠…現在は崩壊している。
- ・子育てを出来る親を教育する役目が年寄りにはある。

校長) 組体操をやるには1年生からの体育の授業の組み立てを変えなければならない。現状学校に上がるまえの子どもは電動自転車に運ばれているだけ。歩いてもない。

大技を禁止(三段タワーは禁止)されている現状モチベーションも持ちにくい。

- ・無理に組体操にこだわらなくて良いのでは…自主性を持って自分たちで決める—落六 DASH
- ・子育て力の低下…組体操はその一例ではないか 当たり前が出来ない
- ・保護者の孤立—子どものことを自信をもって育てる、多面的なコミュニケーション、異年齢集団 →人間力の向上 ⇨地域協働学校の役目にはならないか。
- ・第二地区の六町会・学校の情報をまとめて見られるホームページ作成中—地域交流に繋がるようにする。
- ・組体操はやらなくても良いが体力は付けていくことを考えて欲しい—小学校より前から
- ・丸付けは先生がやらなくてもよいのでは—3年生以上は自分で、親が確認することも親子のコミュニケーションなのでは

校長) 作業よりも仕事をしましょう。と教員に言います。丸付けは作業、仕事は生み出すもの(授業の準備)

- ・地域の方で退職者など放課後宿題をみってくれる場を作ってもよいのでは

校長) 丸付けに時間を取られて本来の授業の質が下がっては本末転倒 子どもを伸ばすことが教員の喜び 思考を育てることが大事

- ・親力が問われる—すべての問題はそこに戻る。
- ・人格を認める→子ども扱いをしない お子様ランチはつぐらない。
- ・基本を大事に育てる。

#### 【次回の予定】

10月10日(火) 17:00～ 落合第六小学校 視聴覚室にて

#### 【出席者】

近藤 弘文、橘 完太、北野 清治、橋田 稔、鈴木 正実、水上 真理、篠田 邦子、  
亀井 治子、竹村 郷、大久保 京子(書記兼務)  
庖刀 由利子(副校長)、  
遠藤 剛(落合第二地区 特別出張所 所長)、木藤(教育支援課地域家庭教育係)